



第2報

平成30年9月27日

応急組立橋と、架設時の技術指導員 1名 を矢掛町へ派遣！

こやんたに

「平成30年7月豪雨」で被災し、通行不能となっている「町道古屋谷線古屋谷橋」の仮復旧のため、中国技術事務所が保有している「応急組立橋」が、岡山県 小田郡矢掛町に貸与され、被災地に向けて輸送されました。

中国技術事務所では、防災技術センターとして迅速な災害復旧に向け、応急組立橋架設時の技術指導員として職員1名を派遣しました。

▼ 応急組立橋について詳しくは [こちら](#) をご覧下さい ▼

出動の様子



積み込み状況



出発式の様子



被害現場

※国土地理院電子地図



古屋谷橋(長さ22.5m、幅2.5m)
7月9日から歩行者だけに制限されている。



形式	組立式下路ワーレントラス式
諸元	橋格(1等橋(T-20,L-20)、橋長最大40.7m(※今回架設は28m) 幅員 車道6.5m、歩道1.5m、床板 車道 鋼製グレーチング 歩道 縞鋼板
総重量	本橋 約146t、歩道 約13t(※今回架設総重量は70t)